

第6回先進スーパーコンピューティング環境研究会（ASE研究会）開催報告

東京大学情報基盤センター 特任准教授 片桐孝洋

2010年2月12日（金）14時00分～17時00分、東京大学情報基盤センター4階遠隔講義室にて、第6回先進スーパーコンピューティング環境研究会（ASE研究会）が開催されました。国内の大学・研究機関および企業からの参加者が15名あり、活発な議論がなされました。

第6回ASE研究会の招待講演として、ドイツのHamburg-Harburg工科大学からJens-Peter Zemke博士をお呼びしました。Zemke博士は、線形反復解法において近年注目されているIDR(s)法に関する研究をなされています。本講演会では、IDR(s)法の概要と、IDR(s)法を用いた最新の固有値解法についてご講演され、大変興味深い内容でした。なお本講演の詳細につきましては、添付の参考資料をご覧ください。

また、東京大学情報基盤センター伊藤祥司特任准教授による、反復解法の体系的性能評価に対する品質管理の講演がありました。また著者による、日立製作所と東京大学情報基盤センターの共同研究、および、東京大学・筑波大学・京都大学との包括的協定（T2K オープンスパコンアライアンス）のメンバから構成され、文部科学省次世代IT基盤構築のための研究開発「e-サイエンス実現のためのシステム統合・連携ソフトウェアの研究開発」の採択課題「シームレス高生産・高性能プログラミング環境」の支援のもと開発されたソフトウェア成果物＜自動チューニング機能付き数値計算ライブラリ Xabclib＞における、本年度新規開発の機能＜数値計算ポリシー＞に関する講演が行われました。

ASE研究会の開催情報はメーリングリストで発信をしております。研究会メーリングリストに参加ご希望の方は、ASE研究会幹事の片桐（katagiri@cc.u-tokyo.ac.jp）までお知らせください。

以上